

平成 27 年 4 月 23 日  
内閣府公共サービス改革推進室

## 民間競争入札実施事業 H25-27 国営木曾三川公園運営維持管理業務の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

### I 事業の概要等

#### 1. 実施の経緯及び事業の概要

国土交通省の所管する国営木曾三川公園（愛知県、岐阜県、三重県）の運営維持管理業務については、公共サービス改革基本方針（平成 23 年 7 月 15 日閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて国土交通省は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「H25-27 国営木曾三川公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

#### （1）業務内容等

事 項	内 容
業務内容	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務 1) マネジメント 2) 企画運営管理 ②施設・設備維持管理業務 1) 維持修繕・保守点検 2) 清掃 3) 魚類管理 ③植物管理業務 ④収益施設等管理運営業務
契約期間	平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの 3 年
受託事業者	H25-27 国営木曾三川公園運営維持管理業務 木曾三川公園マネジメン ト共同体 代表企業：一般財団法人公園財団 構成企業：株式会社名鉄インプレス
契約金額（税抜）	2, 174, 000, 000 円 平成 25 年度：704, 590, 000 円 平成 26 年度：725, 710, 000 円 平成 27 年度：743, 700, 000 円

(2) 実施にあたり確保されるべき質

区分	達成すべき質
包括的な質	<p><b>公園利用者数の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園利用者数：年間 8,706,000人以上               <ul style="list-style-type: none"> <li>第1四半期 2,743,000人以上、第2四半期 1,873,000人以上、</li> <li>第3四半期 2,335,000人以上、第4四半期 1,776,000人以上</li> </ul> </li> <li>木曾三川公園拠点ごとの公園利用者数               <ul style="list-style-type: none"> <li>公園利用者数：河川環境楽園 年間3,613,000人以上</li> <li>138タワーパーク 年間1,892,000人以上</li> <li>木曾三川公園センター 年間1,485,000人以上</li> </ul> </li> <li>有料施設における年間の利用率               <ul style="list-style-type: none"> <li>利用率：輪中ドーム 年間30%以上</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>利用者満足度の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園の運営に関する利用者の満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の「満足」の回答比率：年間 50%以上                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第1四半期 50%、第2四半期 50%、</li> <li>第3四半期 50%、第4四半期 40%</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>地域特性を生かした植物管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木曾三川の地域特性を生かした花修景等に関する利用者の満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>花修景等の満足度：年間 50%以上                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第1四半期 50%、第2四半期 50%、</li> <li>第3四半期 50%、第4四半期 40%</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>多様な利用プログラムの提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用プログラムの開催回数、延べ参加人数               <ul style="list-style-type: none"> <li>河川環境楽園：年間開催回数 690回以上、年間延べ参加人数 14,800人以上</li> <li>アクアワールド水郷パークセンター                   <ul style="list-style-type: none"> <li>：年間開催回数 80回以上、年間延べ参加人数 4,300人以上</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>情報受発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスコミによる報道件数：年間 2,200件以上</li> <li>ホームページの総アクセス件数：年間 357,000件以上</li> </ul>
個別業務の質	<p><b>① 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務</b></p> <p><b>1) マネジメント</b></p> <p>本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、施設利用料の徴収事務、中部地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。</p> <p><b>2) 企画運営管理</b></p> <p>利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、公園利用者の施設予約等の受付、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。</p>

個別業務の質 (続き)	<p><b>② 施設・設備維持管理業務</b></p> <p>1) 維持修繕・保守点検</p> <p>建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を確実に行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。</p> <p>2) 清掃</p> <p>公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。</p> <p>3) 魚類管理</p> <p>河川環境楽園内の木曾川水園の魚類等の生育状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示等を行い、環境学習の場として機能するよう適切な管理を行う。</p>
	<p><b>③ 植物管理業務</b></p> <p>木曾三川の地域特性に合った花風景の演出を行うため、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、灌水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うとともに、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。さらに、季節に応じた花修景等を行う。</p>
	<p><b>④ 収益施設等運營業務</b></p> <p>本業務と連携して公園利用者サービスの向上を図るため、飲食・物販施設などの収益施設の運営管理を行わなければならない。また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設等の自主事業を行う。</p>

## 2. 受託事業者決定の経緯

入札参加者1者から提出された企画書について審査した結果、評価基準を満たしていた（なお、入札説明書等の交付期間中に実施要項は4者に交付）。平成24年11月28日に開札をした結果、予定価格の制限の範囲内であったことから、総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

## II 評価

### 1. 評価方法について

国土交通省から提出された平成25年4月から平成26年12月までの間の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

### 2. 対象公共サービスの実施内容に関する評価

#### (1) 対象公共サービスの質についての実施状況

## ア 包括的な質

本事業において設定された確保されるべき包括的な質に係る実施状況は次のとおりである。

主要事項	項目	目標値	実施結果	
			平成 25 年度	平成 26 年度 (4~12 月)
公園利用者数の確保	本公園の年間及び四半期ごとの公園利用者数	年間 8,706,000 人以上	9,339,684 人	7,941,545 人
		第 1 四半期 2,743,000 人以上	2,740,552 人	2,900,180 人
		第 2 四半期 1,873,000 人以上	2,225,863 人	2,572,700 人
		第 3 四半期 2,335,000 人以上	2,465,440 人	2,468,665 人
		第 4 四半期 1,776,000 人以上	1,907,829 人	—
	河川環境楽園の公園利用者数	年間 3,613,000 人以上	4,217,222 人	3,655,442 人
	138 タワーパークの公園利用者数	年間 1,892,000 人以上	1,910,616 人	1,524,288 人
	木曾三川公園センターの公園利用者数	年間 1,485,000 人以上	1,291,605 人	1,129,627 人
有料施設における年間の利用率	年間 30%以上	33.5%	38.9%	
利用満足度の向上	公園の運営に関する利用者の「満足」の回答比率	年間 50%以上	55.3%	67.4%
		第 1 四半期 50%以上	61.8%	59.8%
		第 2 四半期 50%以上	53.3%	54.0%
		第 3 四半期 50%以上	50.8%	81.9%
		第 4 四半期 40%以上	52.2%	—
地域特性を生かした植物管理	木曾三川の地域特性を生かした花修景に関する利用者の「満足だった」の回答比率	年間 50%以上	52.3%	66.1%
		第 1 四半期 50%以上	58.7%	60.4%
		第 2 四半期 50%以上	50.0%	55.7%
		第 3 四半期 50%以上	49.2%	77.2%
		第 4 四半期 40%以上	46.5%	—
多様な利用プログラムの提供	利用プログラムの年間開催回数と延べ参加人数（河川環境楽園）	年間開催回数 690 回以上	1,127 回	936 回
		延べ参加人数 14,800 人以上	32,119 人	29,008 人
	利用プログラムの年間開催回数と延べ参加人数（アケワールド水郷パークセンター）	年間開催回数 80 回以上	232 回	246 回
		延べ参加人数 4,300 人以上	5,534 人	4,943 人
情報受発信	マスコミによる報道件数	年間 2,200 件以上	2,475 件	2,037 件
	ホームページ総アクセス件数	年間 357,000 件以上	515,117 件	575,642 件

※アンケート調査は、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所が対面式で実施。

## イ 個別業務の質

国土交通省の調査職員において、個別業務の質に関する履行確認を行っている。平成 26 年 12 月現在、管理月報により計画通りの履行を確認している。

## (2) 評価

平成 25 年度については、四半期ごとに設定されている達成すべき質について、一部達成できていない期間があるものの、年間を通じてはほとんどの項目で達成している。特に、利用プログラムの参加人数については、目標値を大幅に上回っている。

平成 26 年度についても、平成 25 年度と同様、年間の目標について概ね達成する見込みとなっている。

## (3) 民間事業者からの提案による改善実施事項

民間事業者からの改善提案に基づき以下の事項が着実に実施されたことから、民間事業者による創意工夫が発揮できたと評価できる。なお以下の提案については、毎月開催される連絡会議（調査職員と受託事業者との定例の意見交換の場）等で調整を行い、利用者サービスの向上に努めている。

### ① 138 タワーパークにおける利用促進の取り組み

グルメ系フェスティバルとして一宮故郷グルメグランプリを誘致した他、新設された全天候型施設を有効活用し映画祭等を開催。イベント等の拡充による利用者数の増加や雨天でも活動できる公園の認知に努めた。

### ② サービス向上パトロールの取り組み

受託事業者と市民サポーターにより、全拠点のソフト・ハードの両面をお客様の目線で観察し、不満・不快の種を発見除去。快適な利用環境の提供により、利用者の不快・不満を解消し、利用者満足度の向上に努めた。

### ③ クリスタルフラワーを活かす花とみどりをテーマにした展示、演出

岐阜県立国際園芸アカデミーや地域の園芸愛好家団体等の参加を得て、各種園芸植物展やディスプレイ作品展などを開催し、年間を通じ多様な展示、演出を実施。展示、演出の充実により、花とみどりを学習する場としての機能向上に努めた。

### ④ センターハウスと川を結ぶスポレク体験プログラムの開催

長良川サービスセンターのセンターハウスとレガッタコース等の水面、ビーチバレーコート、ランニングコース等の高水敷を組み合わせた、スポーツ・レクリエーションを楽しむ体験を、地域のボート協会、カヌー協会等の協力を得て開催。川とセンターハウスを活かしたスポーツ・レクリエーションの場としての機能向上、川に親しむ機会の増加や川への理解の広がりに努めた。

### ⑤ 自然発見館発の歴史・文化系環境教育プログラム

木曾三川の上流から下流までをつなぐツアー型環境教育プログラムを、「木曾川文化研究会」等流域の多くの関係者の協力を得て開催。多くの方が、木曾川の育んだ風土・文化を遊びながら学び、互いの交流促進に努めた。

### ⑥ マスメディアの活用

地域の自治体広報誌、地域のミニコミ誌、鉄道会社広報誌等を最大限活用し、効果的な広報宣伝を実施。報道による公園サービス内容や魅力等の周知や利用促進に努めた。

### ⑦ プチボランティアを楽しむ仕組みの導入

幅広い方が、好きなタイミングで、好きな時間だけボランティアができるプチボランティア制度を立ち上げ、活動時間によりポイントを付与し貯めたポイントをパークマネーとして公園内で使えるよう運営。ボランティア活動の多様化・活性化、交流の促進に努めた。

### 3. 実施経費についての評価

本事業の契約額（平成 25 年度～27 年度分）は 2,174,000 千円（税抜）であり、平成 25 年度における委託費の支払額（契約額と同額）は、704,590 千円（税抜）であり、平成 24 年度の実施経費（市場化テスト導入前）723,800 千円（税抜）と比較して、19,210 千円（2.7%）の削減となっており、経費の削減が図られていると評価できる。

（参考）

従来費用（A）：723,800 千円（平成 24 年度実施経費・税抜）

実施経費（B）：704,590 千円（平成 25 年度実施経費・税抜）

削減額（C）：19,210 千円（A－B）

削減率（ $C/A \times 100$ ）=2.7%

### 4. 評価のまとめ

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された質については、平成 25 年度及び平成 26 年度の 2 か年間を総括して見ると、概ね確保されている。

また、民間事業者の自らの改善提案に基づき、グルメ系フェスティバルの誘致、映画祭等の新規イベントの積極的な導入や花とみどりの多様な展示・演出、多様な体験プログラム、プチボランティアの導入などを行った結果、公園全体の利用者数が過去最高を記録している点は、民間事業者の創意工夫が発揮され、当公園の魅力を一層高めたとして評価できる。

実施経費についても、2.7%の経費削減が図られており、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されたものと評価できる。

### 5. 今後の方針

本事業の市場化テストは今期が 1 回目であり、事業全体を通じての実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中に受託民間事業者への業務改善指示等の措置はなく、また法令違反行為等もなかった。
- ② 国土交通省中部地方整備局内に設置されている外部有識者で構成された「国営公園運営維持管理業務有識者委員会」において、事業実施状況のチェックを受けることとしている。
- ③ 入札において一者応札となったものの、実施要項の交付を受けた者は 4 者あり、競争性は確保されていた。一方で担い手不足や実施体制の確保への懸念などの状況から一者応札となった可能性が考えられることから、今後さらに競争性の確保に努めることが必要である。
- ④ 確保されるべき公共サービスの質において、ほぼ全ての目標を達成していた。
- ⑤ 経費削減において、従来経費からの削減率 2.7%の効果を上げていた。
- ⑥ 次期事業の実施要項については、従来の実施要項の内容を承継する見込みであり、入札条件等の大幅な見直しの必要はないものである。

また、国土交通省では、次期事業の実施に当たり、これまで以上の質の維持向上と一層の民間事業者の参入促進を目指して、事業実施期間の延長、多客期（4 月～5 月）を考慮した事業開始時期の工夫、業務の引き継ぎ事項の充実、業務評定の導入及び業務実績に関する要件の緩和等さまざまな改善策を講じることとしている。このように弛まない改善を図ることにより、更なる成果が得られるものと考えられる。

以上のことから、本事業については「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅲ. 1 の基準に基づき新プロセスに移行した上で、事業を実施することが適当と考えられる。

以上

平成 27 年 3 月 13 日  
国 土 交 通 省

民間競争入札実施事業  
H25-27 国営木曾三川公園運営維持管理業務の実施状況について

1. 事業概要

(1) 委託業務内容

国営木曾三川公園（愛知県、岐阜県、三重県）における運営維持管理業務

①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

- 1) マネジメント
- 2) 企画運営管理

②施設・設備維持管理業務

- 1) 維持修繕・保守点検
- 2) 清掃
- 3) 魚類管理

③植物管理業務

④収益施設等管理運営業務

(2) 業務委託期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（3 か年）

(3) 受託事業者

平成 24 年度 H25-27 国営木曾三川公園運営維持管理業務 木曾三川公園マネジメント共同体

代表企業：一般財団法人 公園財団

構成企業：株式会社 名鉄インプレス

(4) 受託事業者決定の経緯

「平成 24 年度 H25-27 国営木曾三川公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、入札参加者（1 者）から提出された企画書について審査した結果、評価基準を満たしていた（なお、入札説明書等の交付期間中に実施要項は 4 者に交付）。入札価格については、平成 24 年 11 月 28 日に開札した結果、予定価格の範囲であったことから、この者について総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。



## 2. サービスの質の達成状況等（平成 25 年 4 月分～平成 26 年 12 月分）

本業務においては、実施要項により、サービスの質として、「包括的な質」と「個別業務の質」を設定しているところである。

このサービスの質について達成状況を確認するため、実施要項に記載された方法により実施したモニタリング調査の結果等について報告する。

### (1) 包括的な質

#### 1) 公園利用者数の確保

##### ①本公園の年間及び四半期ごとの公園利用者数

###### ア 達成すべき質

- 公園利用者数：年間 8,706,000 人以上  
第 1 四半期 2,743,000 人以上、第 2 四半期 1,873,000 人以上、  
第 3 四半期 2,335,000 人以上、第 4 四半期 1,776,000 人以上

###### イ 結果

- 達成状況は、表 1 のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- 平成 25 年度は、第 1 四半期に目標を下回ったため、実施要項の規定に基づき、調査職員より受託事業者適切に業務を行うよう改善の指示を行った。  
受託事業者は、主な理由として、カルチャービレッジ輪中ドームの閉鎖（H25.2.5～4.25・テニスコートの補修工事）による公園利用者減を挙げた上で、業務改善計画書において再開時にはホームページで再開を通知するとともに、閉鎖中に利用をお断りしたお客様へ電話連絡をするなどの営業活動や企業運動会の誘致、並びに木曾三川公園全体として不足した人数を充足するため、木曾三川公園センターにおける「冬の光物語」（イルミネーションなど）の実施期間を延長するなど入園者確保に努めることなどを計画した。調査職員が承諾した業務改善計画により、受託事業者が適切に実施した結果、年間及び第 2 四半期以降は達成すべき質が確保された。
- 平成 26 年度は、第 3 四半期までの全ての期間で、達成すべき質が確保されており、今後も第 4 四半期及び年間の達成すべき質の確保が期待される。

表 1 全体の年間及び四半期ごとの公園利用者数

達成すべき質	平成 25 年度 <sup>1)</sup>		平成 26 年度 <sup>2)</sup>	
	利用者数	達成率	利用者数	達成率
年間：8,706,000 人以上	9,339,684 人	107%	7,941,545 人	91%
第 1 四半期：2,743,000 人以上	2,740,552 人	99%	2,900,180 人	106%
第 2 四半期：1,873,000 人以上	2,225,863 人	119%	2,572,700 人	137%
第 3 四半期：2,335,000 人以上	2,465,440 人	106%	2,468,665 人	106%
第 4 四半期：1,776,000 人以上	1,907,829 人	107%	-	-

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

## ②木曾三川公園拠点ごとの年間公園利用者数

### ア 達成すべき質

- 公園利用者数：河川環境楽園 年間 3,613,000 人以上  
138 タワーパーク 年間 1,892,000 人以上  
木曾三川公園センター 年間 1,485,000 人以上

### イ 結果

- 達成状況は、表 2 のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- 平成 25 年度は、木曾三川公園センターで目標を下回ったため、実施要項に基づき、適切に業務を行えるよう調査職員より受託事業者に指導を行った。  
受託事業者は、主な理由として、レジャー施設の多様化やイベント内容の変化の少なさにより、特にチューリップ祭期間中の入園者数が減少したことなどを挙げた上で、業務改善計画書において新規に「夏の水遊び場の増設」、「イルミネーション期間の花火演出」、「アイスチューリップ祭り」などを計画した。
- 平成 26 年度は、調査職員が承諾した業務改善計画により、受託事業者が適切な運営・維持・管理を行っており、河川環境楽園では 12 月末時点で達成すべき質が確保された。138 タワーパーク、木曾三川公園センターでは、12 月末時点の利用者数が 1,524,288 人、1,129,627 人となり、対前年度比を上回っており、達成すべき質の確保が期待される。

表 2 木曾三川公園拠点ごとの年間公園利用者数

	達成すべき質	平成 25 年度 <sup>1)</sup>		平成 26 年度 <sup>2)</sup>	
		利用者数	達成率	利用者数	達成率
河川環境楽園	年間 3,613,000 人以上	4,217,222 人	117%	3,655,442 人	101%
138 タワーパーク	年間 1,892,000 人以上	1,910,616 人	101%	1,524,288 人	81%
木曾三川公園センター	年間 1,485,000 人以上	1,291,605 人	87%	1,129,627 人	76%

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

## ③有料施設における年間の利用率

### ア 達成すべき質

- 利用率：輪中ドーム 年間 30%以上

### イ 結果

- 達成状況は、表 3 のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- 平成 26 年度は、12 月末時点の利用率が対前年度比を上回っており、達成すべき質の確保が期待される。

表 3 「輪中ドーム」における年間の利用率

達成すべき質	平成 25 年度 <sup>1)</sup>		平成 26 年度 <sup>2)</sup>	
	利用率	達成率	利用率	達成率
年間：30%以上	33.5%	112%	38.9%	116%

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

3) 利用率とは、「全面的利用時間（各月の日数×4（面）×11.5（時間）」に対する、「実際の利用時間（テニスコート利用時間+（フットサルコート利用時間×2）+（全体利用時間×4）」の割合

## 2) 利用者満足度の向上

### ①公園の運営に関する利用者の「満足」の回答比率

#### ア 達成すべき質

- 公園の運営に関わる「満足」の回答比率：年間 50%以上  
第1四半期 50%以上、第2四半期 50%以上  
第3四半期 50%以上、第4四半期 40%以上

#### イ 結果

- 達成状況は、表4のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- 平成26年度は、第3四半期までの全ての期間で達成すべき質が確保されており、今後も第4四半期及び年間の達成すべき質の確保が期待される。

表4 「公園の運営」に関わる満足度の回答比率

達成すべき質	平成25年度 <sup>1)</sup>		平成26年度 <sup>2)</sup>	
	満足度	達成率	満足度	達成率
年間：50%以上	55.3%	111%	67.4%	135%
第1四半期：50%以上	61.8%	124%	59.8%	120%
第2四半期：50%以上	53.3%	107%	54.0%	108%
第3四半期：50%以上	50.8%	102%	81.9%	184%
第4四半期：40%以上	52.2%	131%	-	-

1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間

2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

3) アンケート調査は、国土交通省中部地方整備局国営木曾三川公園事務所が対面式で実施

4) アンケート調査は、四半期毎に、大型イベントなどの特異日を除く平日、休日を基本として実施

5) アンケート有効回答数：平成25年度3,601回答、平成26年度3,225回答（H26年12月31日まで）

### ②木曾三川の地域特性を生かした花修景等に関わる満足度

#### ア 達成すべき質

- 花修景等の満足度：年間 50%以上  
第1四半期 50%以上、第2四半期 50%以上  
第3四半期 50%以上、第4四半期 40%以上

#### イ 結果

- 達成状況は、表5のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- 平成25年度は、第3四半期で目標を下回ったため、実施要項の規定に基づき、適切に業務を行うよう調査職員より受託事業者に適切に業務を行うよう改善の指示を行った。受託事業者は、主な理由として、花修景の魅力不足や、花の見頃の広報が十分実施できず、見頃を外れた時期に多くの来園者が訪れたことによる満足度の低下を挙げた上で、業務改善計画書において魅力的な花修景空間の創出（コスモスの開花リレー、開花に重点をおいた樹木の刈り込み）、適時適切な広報の展開（現在開花している花の情報を園内に掲示）などにより、満足度の確保に努めることなどを計画した。調査職員が承諾した業務改善計画書により、受託事業者が適切に実施した結果、年間及び第4四半期の達成すべき質が確保された。
- 平成26年度は、第3四半期までの全ての期間で、達成すべき質が確保されており、今後も

第4四半期及び年間の達成すべき質の確保が期待される。

表5 木曾三川の地域特性を生かした花修景等の満足度

達成すべき質	平成25年度 <sup>1)</sup>		平成26年度 <sup>2)</sup>	
	満足度	達成率	満足度	達成率
年間：50%以上	52.3%	105%	66.1%	132%
第1四半期：50%以上	58.7%	117%	60.4%	121%
第2四半期：50%以上	50.0%	100%	55.7%	111%
第3四半期：50%以上	49.2%	98%	77.2%	154%
第4四半期：40%以上	46.5%	116%	-	-

1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間

2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

3) アンケート調査は、国土交通省中部地方整備局国営木曾三川公園事務所が対面式で実施

4) アンケート調査は、大型イベントなどの特異日を除く平日、休日を基本として実施

5) アンケート有効回答数：平成25年度6,757回答、平成26年度6,082回答

### 3) 多様な利用プログラムの提供

#### ①利用プログラムの開催回数・延べ参加人数

##### ア 達成すべき質

- ・利用プログラム開催回数：河川環境楽園 年間690回以上、  
アクアワールド水郷パークセンター 年間80回以上
- ・延べ参加人数：河川環境楽園 年間14,800人以上、  
アクアワールド水郷パークセンター 年間4,300人以上

##### イ 結果

- ・達成状況は、表8のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表8 利用プログラム開催回数、延べ参加人数

	達成すべき質	平成25年度 <sup>1)</sup>		平成26年度 <sup>2)</sup>	
		実績値	達成率	実績値	達成率
河川環境楽園（自然発見館）	年間開催回数：690回以上	1,127回	163%	936回	136%
	延べ参加人数：14,800人以上	32,119人	217%	29,008人	196%
アクアワールド水郷パークセンター	年間開催回数：80回以上	232回	290%	246回	308%
	延べ参加人数：4,300人以上	5,534人	129%	4,943人	115%

1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間

2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

#### 4) 情報受発信の充実

##### ①マスコミによる報道件数

###### ア 達成すべき質

- ・マスコミによる報道件数：年間 2,200 件以上

###### イ 結果

- ・達成状況は、表 6 のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- ・平成 26 年度は、12 月末時点で 2,037 件と対前年度比を上回っており、達成すべき質の確保が期待される。

表 6 マスコミによる報道件数

	達成すべき質	平成 25 年度 <sup>1)</sup>		平成 26 年度 <sup>2)</sup>	
		件数	達成率	件数	達成率
マスコミ報道件数	年間 2,200 件以上	2,475 件	113%	2,037 件	93%

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

##### ②ホームページ総アクセス数

###### ア 達成すべき質

- ・ホームページ総アクセス数：年間 357,000 件以上

###### イ 結果

- ・達成状況は、表 7 のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表 7 ホームページ総アクセス数

	達成すべき質	平成 25 年度 <sup>1)</sup>		平成 26 年度 <sup>2)</sup>	
		件数	達成率	件数	達成率
ホームページ総アクセス数	年間 357,000 件以上	515,117 件	144%	575,642 件	161%

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

## **(2) 個別業務の質**

### **ア 達成すべき質**

以下に示す個別業務の質を確保すること。

#### **①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務**

##### **ア) マネジメント**

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、施設・設備維持管理業務、植物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、施設利用料の徴収事務、中部地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。

##### **イ) 企画運営管理**

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、公園利用者の施設予約等の受付、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。

#### **②施設・設備維持管理業務**

##### **ア) 維持修繕・保守点検**

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を確実にを行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。

##### **イ) 清掃**

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。

##### **ウ) 魚類管理**

河川環境楽園内の木曾川水園の魚類等の生育状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示等を行い、環境学習の場として機能するよう適切な管理を行う。

#### **③植物管理業務**

木曾三川の地域特性に合った花風景の演出を行うため、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、灌水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うとともに、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。さらに、季節に応じた花修景等を行う。

#### **④収益施設等管理運営業務**

本業務と連携して公園利用者サービスの向上を図るため、飲食・物販施設などの収益施設の

運営管理を行わなければならない。また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設等の自主事業を行う。

## イ 結果

個別業務の質に関する履行確認は、実施要項に定められたモニタリング方法（管理月報の確認）、並びに運営維持管理者からの企画提案を含め網羅した『履行確認書』を用いた確認によって、調査職員が書面及び現地立会により実施しており、質の確保が確認されている。

### 履行確認書（抜粋）

様式-2		国営木曾三川公園 月別履行確認調査		(02)月分	
植物管理					
		項目	確認	摘要	備考
芝生管理	芝刈工	管理水準を目安とした刈込刈り取った芝の運搬・堆積刈り跡の清掃 適切かつ効率的な数量を設定し作業にあたる	■	(当月対象外)	
	芝生地除草工 (人力除草)	芝生をいためないよう丁寧に除草跡の目土充填	■	(当月対象外)	
	芝生施肥工	むらのないよう均一的に散布適切かつ効率的な時期を設定し、作業にあたる	■	(当月対象外)	
	芝生目土掛工	芝草の生育促進、芝生地表面の不陸生整の効果を最大限に発揮できるよう施工	■	(当月対象外)	
	芝生エアレーション工	土壌が膨軟となるよう効果的に行う	■	(当月対象外)	
	芝切工	舗装等工作物の破損予防や植え込みへの進入、集計的な支障の防止のために芝生地のエッジを切り込む	■	(当月対象外)	
	芝生灌水	適切と判断した灌水量を芝生全面に行きわたるように均一に灌水する	■	(当月対象外)	
	芝生雑工	部分的な養生、芝生保護材設置、灌水、施肥散布等	■	チェックシートによる	
中低木管理	中低木剪定工	対象地の個々の中低木の目的(鑑賞、遮蔭・境界、緑陰)に留意した剪定	■	チェックシートによる	
	中低木地除草工	既存植物をいためないよう行う	■	チェックシートによる	
	中低木施肥工	各樹木の特性に応じた施肥の実施	■	チェックシートによる	
	中低木雑工・中低木巡回工 (巡回作業・雑作業)	ササ刈、植木手入れ、マルチング、土壌改良、灌水等	■	チェックシートによる	
	中低木病害虫防除工 (薬剤散布)	病害虫が発生した場合の適切な病害虫防除(薬剤散布)	■	(当月対象外)	
バラ園管理	バラ剪定工(弱剪定、強剪定)	バラの特性を理解し、それぞれの株の生育状況に応じた適切な剪定	■	チェックシートによる	
	バラ除草工(人力除草)	人力による抜根除草	■	チェックシートによる	
	バラ施肥工	人力による施用とし、6月の開花終了後と2月に元肥を使用	■	チェックシートによる	
	バラ病害虫防除工	病害虫が発生した場合の適切な病害虫防除(薬剤散布)	■	(当月対象外)	
	バラ園花がら摘み	開花後花が散る前の花がらを人力にて剪定	■	(当月対象外)	
	バラマルチング工	人力にて厚さ4.0cmを標準とし均一に施工	■	(当月対象外)	
	バラ雑工	必要に応じて芽かき、シュート処理、弱枝切り戻し等	■	(当月対象外)	
高木管理	高木剪定工	樹木の骨格づくり、樹形の整形、湿み過ぎによる病害虫及び枯損枝の発生防止等を目的に最も適切な方法で行う	■	チェックシートによる	
	ヤゴ取り工	ヤゴ、幹ぶきの剪定	■	(当月対象外)	
	高木施肥工	各樹木の特性に応じた施肥の実施	■	チェックシートによる	
	高木雑工・高木巡回工 (巡回作業・雑作業)	倒木復旧作業、樹勢回復作業、高所作業、高木補植等	■	チェックシートによる	
	高木支柱工	適切な高木支柱工の実施	■	(当月対象外)	
	高木枯損木処分工	適切な高木枯損木処分工の実施	■	チェックシートによる	
	高木害虫防除工(薬剤散布)	病害虫が発生した場合の適切な病害虫防除(薬剤散布)	■	(当月対象外)	

### (3) 業務に係る法令違反行為等の有無

本業務において、業務に係る法令違反行為はなかった。また、重大な事故発生や著しい業務の質の低下など、業務の適正かつ確実な実施を確保するために、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第 26 条における報告の徴収等及び同法第 27 条における指示等が必要な状況はなかった。

## 3. 実施経費の状況

### (1) 公共サービスの実施に要した経費

	平成 25 年度～平成 27 年度	(参考)平成 24 年度実績
契約額(税抜き)	平成 25 年度： 704,590,000 円 1) 平成 26 年度： 725,710,000 円 平成 27 年度： 743,700,000 円 3 箇年度合計： 2,174,000,000 円	723,800,000 円
削減効果	▲19,210,000 円(▲2.7%) <sup>2)</sup>	
供用面積	270.9ha (平成 26 年 12 月時点)	256.5ha
備考	○平成 25 年 4 月 かさだ広場・各務原アウトドアフィールド <sup>®</sup> 、フラワーパーク江南 (1.7ha) 追加供用 ○平成 26 年 4 月 三派川地区センター、ワイルドネイチャープラザ <sup>®</sup> 、かさだ広場・各務原アウトドアフィールド <sup>®</sup> 、河川環境楽園、長良川サービスセンター (12.7ha) 追加供用	

注) 管理面積等の前提条件が異なるため、単純比較はできない。

1) 平成 25 年度における委託費の支払額は、平成 25 年度分に係る契約額と同額である

2) 平成 25 年度の削減額及び削減割合 (対平成 24 年度)

## 4. 受託事業者からの提案による実施事項

受託事業者からは、企画提案時及び業務履行中に、以下の様なサービス向上のための提案が出されており、これらの提案については、毎月開催される定例会 (調査職員と受託事業者等との定例の意見交換の場) 等で調整を行い、利用者サービスの向上に努めている。

### <主な実施状況>

#### ・138タワーパークにおける利用促進の取り組み

グルメ系フェスティバルとして一宮故郷グルメグランプリを誘致した他、新設された全天候型施設を有効活用し映画祭等を開催。イベント等の拡充による利用者数の増加や雨天でも活動できる公園の認知に努めた。

#### ・サービス向上パトロールの取り組み

受託事業者と市民サポーターにより、全拠点のソフト・ハードの両面をお客様の目線で観察し、不満・不快の種を発見除去。快適な利用環境の提供により、利用者の不快・不満を解消し、利用者満足度の向上に努めた。



- ・クリスタルフラワーを活かす花とみどりをテーマにした展示、演出  
岐阜県立国際園芸アカデミーや地域の園芸愛好家団体等の参加を得て、各種園芸植物展やディスプレイ作品展などを開催し、年間を通じ多様な展示、演出を実施。展示、演出の充実により、花とみどりを学習する場としての機能向上に努めた。
- ・センターハウスと川を結ぶスポレク体験プログラムの開催  
長良川サービスセンターのセンターハウスとレガッタコース等の水面、ビーチバレーコート、ランニングコース等の高水敷を組み合わせた、スポーツ・レクリエーションを楽しむ体験を、地域のボート協会、カヌー協会等の協力を得て開催。川とセンターハウスを活かしたスポーツ・レクリエーションの場としての機能向上、川に親しむ機会の増加や川への理解の広がりに努めた。
- ・自然発見館発の歴史・文化系環境教育プログラム  
木曾三川の上流から下流までをつなぐツアー型環境教育プログラムを、「木曾川文化研究会」等流域の多くの関係者の協力を得て開催。多くの方が、木曾川の育んだ風土・文化を遊びながら学び、互いの交流促進に努めた。
- ・マスメディアの活用  
地域の自治体広報誌、地域のミニコミ誌、鉄道会社広報誌等を最大限活用し、効果的な広報宣伝を実施。報道による公園サービス内容や魅力等の周知や利用促進に努めた。
- ・プチボランティアを楽しむ仕組みの導入  
幅広い方が、好きなタイミングで、好きな時間だけボランティアができるプチボランティア制度を立ち上げ、活動時間によりポイントを付与し貯めたポイントをパークマネーとして公園内で使えるよう運営。ボランティア活動の多様化・活性化、交流の促進に努めた。

## 5. 総評

### (1) 木曾三川公園における運営維持管理業務の実施内容に関する評価

包括的な質について、目標を達成しなかった四半期がわずかにあったものの、実施要項に基づき受託事業者が調査職員に業務改善計画書を提出し、適切に業務を実施することで改善以降の目標を達成するなど、達成すべき質は概ね達成されている。

また、毎月開催する定例会で調査職員と調整しつつ各種改善を行うことにより、平成26年度の達成水準が前年度を上回るなど、受託事業者のノウハウを活かしたサービスの提供等にも努めており、サービス水準の向上に繋がっていると評価できる。

特に、グルメ系フェスティバルの誘致、映画祭等の新規イベントの積極的な導入や花とみどりの多様な展示・演出、多様な体験プログラム、プチボランティアの導入などを行った結果、公園全体の利用者数が過去最高を記録しており、国営木曾三川公園の魅力を一層高めている点が評価できる。

### (2) 次期業務の実施に当たっての方針

民間競争入札の実施により、達成すべき質に係る達成目標は概ね確保されている。業務に係る法令違反や「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」第27条に基づく業務改善指示が必要とされる状況はなかった。また、経費についても2.7%の削減が図られている。他方、担い手不足や実施体制の確保への懸念などの状況から一社応募であった可能性が考えられ、下記の改善事項を着実に実施することにより、競争性の確保に努めていくこととしている。

これらを総合的に判断すると、本業務は民間競争入札によって良好な実施結果が得られたと

認められ、さらに、実施状況について外部の有識者によるチェック体制を備えていることなどから、次期業務においては、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会）」に基づき、新プロセスへ移行した上で業務を実施することとしたい。

なお、次期業務の実施に当たっては、本業務の実施結果や、他公園における運営維持管理業務の実施状況等を踏まえ、手続の簡素化等を図るとともに、国営公園の管理の質の向上及び一層の民間事業者の参入の促進等のため、下記の改善を図る予定である。

#### **1) 業務実施期間の改善**

①業務期間を現在の3箇年から4箇年に延長する。

②次々期受託事業者が、業務開始から多客期（4～5月のGW等）までの間に十分な経験を積めるよう、次期業務期間を1月末まで（次々期業務開始を2月から）とする。

#### **2) 業務の引き継ぎ事項の充実**

次々期受託事業者へ引き継ぎを行う際に、必要な情報を円滑かつ適正に引き継げるよう、引き継ぎ事項をさらに明確化する。

#### **3) 業務評定の導入**

包括的な質の達成及び業務の確実な履行を促す観点から、次期事業から業務評定を導入し、その結果を次々期業務の入札時における評価に反映させる。

#### **4) 企業及び配置予定者の業務実績に関する要件の緩和**

入札参加資格に関する事項について、業務実績は過去10年の同種又は類似業務の経験を有することとしているが、その期間を過去15年に緩和する。

《別紙：包括的な質の実施状況》

1. 公園利用者数の確保

(1) 本公園全体の年間及び四半期ごとの公園利用者数

【平成 25 年度】

年 間：9,339,684 人

第 1 四半期：2,740,552 人

第 2 四半期：2,225,863 人

第 3 四半期：2,465,440 人

第 4 四半期：1,907,829 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年 間：7,941,545 人

第 1 四半期：2,900,180 人

第 2 四半期：2,572,700 人

第 3 四半期：2,468,665 人

表 年度別の公園利用者数比較（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H21-23（平均）	1,196,000	1,070,000	520,000	560,000	680,000	620,000	880,000	700,000	860,000	480,000	440,000	700,000	8,706,000
H25	1,049,410	1,083,632	607,510	623,632	866,375	735,856	827,675	777,270	860,495	610,825	456,161	840,843	9,339,684
H26	1,078,478	1,227,693	594,009	694,743	939,248	938,709	843,543	929,117	696,005				

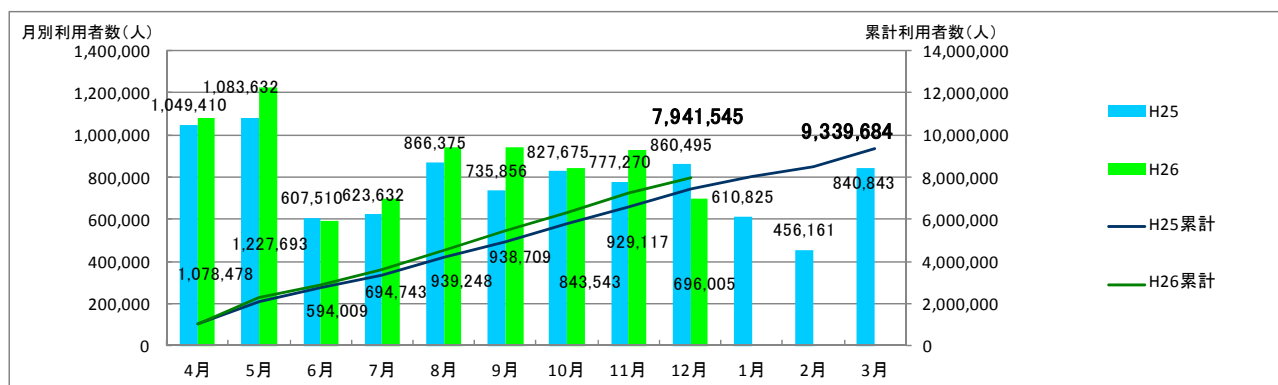


図 月別の公園全体の利用者数

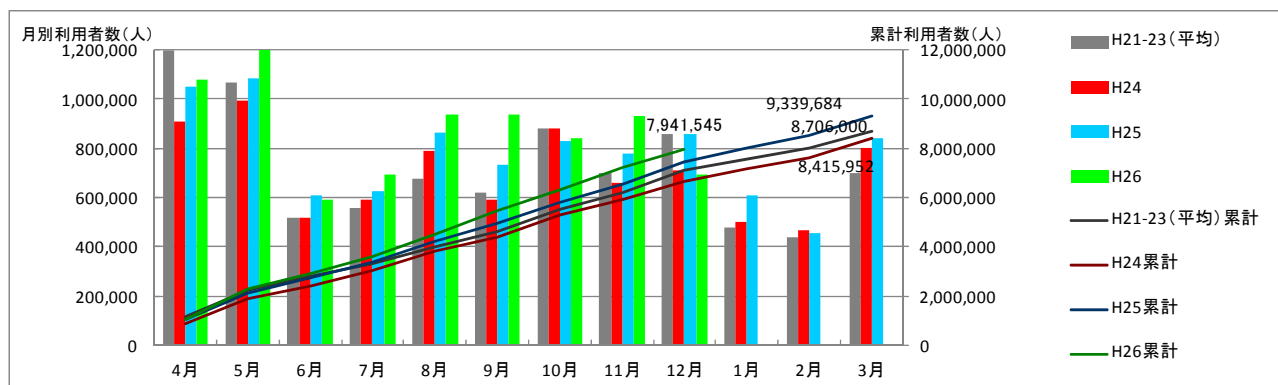


図 過去の年度別の公園全体の利用者数（月別）

(2) 拠点ごとの年間及び四半期ごとの利用者数

1) 河川環境楽園

【平成 25 年度】

年 間：4,217,222 人

第 1 四半期：1,034,976 人

第 2 四半期：1,408,504 人

第 3 四半期：920,358 人

第 4 四半期：853,384 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年 間：3,655,442 人

第 1 四半期：1,101,003 人

第 2 四半期：1,619,609 人

第 3 四半期：934,830 人

表 河川環境楽園利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	347,142	386,397	301,437	401,719	624,480	382,305	319,865	304,714	295,779	280,857	210,767	361,760	4,217,222
H26	352,357	436,799	311,847	471,319	677,195	471,095	318,269	366,425	250,136				3,655,442

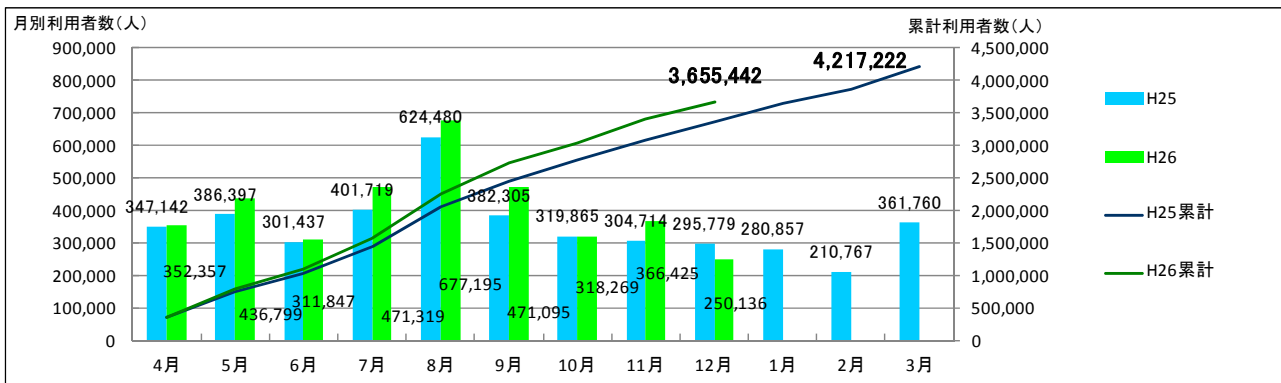


図 月別の河川環境楽園利用者数

2) 138 タワーパーク

【平成 25 年度】

年 間：1,910,616 人

第 1 四半期：573,224 人

第 2 四半期：321,137 人

第 3 四半期：608,367 人

第 4 四半期：407,888 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年 間：1,524,288 人

第 1 四半期：598,377 人

第 2 四半期：359,897 人

第 3 四半期：566,014 人

表 138 タワーパーク利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	166,287	286,124	120,813	83,869	113,321	123,947	147,266	202,648	258,453	116,325	103,283	188,280	1,910,616
H26	181,871	309,606	106,900	81,389	117,880	160,628	149,629	233,918	182,467				1,524,288

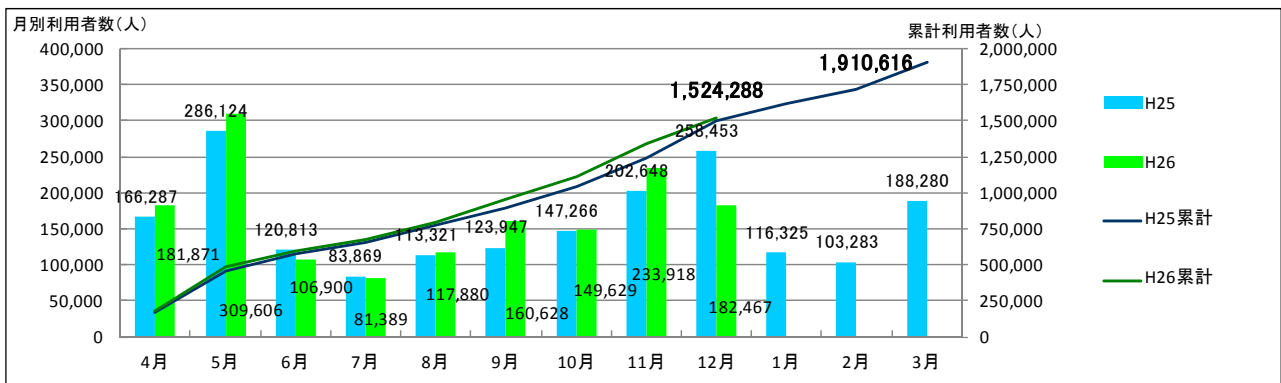


図 月別の 138 タワーパーク利用者数

3) 木曾三川公園センター

【平成 25 年度】

年 間：1,291,605 人

第 1 四半期：496,914 人

第 2 四半期：153,961 人

第 3 四半期：412,549 人

第 4 四半期：228,181 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年 間：1,129,627 人

第 1 四半期：515,262 人

第 2 四半期：196,733 人

第 3 四半期：417,632 人

表 木曾三川公園センター利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	292,892	146,614	57,408	32,313	38,189	83,459	110,052	100,647	201,850	88,681	37,127	102,373	1,291,605
H26	296,700	174,427	44,135	35,988	39,373	121,372	109,566	133,032	175,034				1,129,627

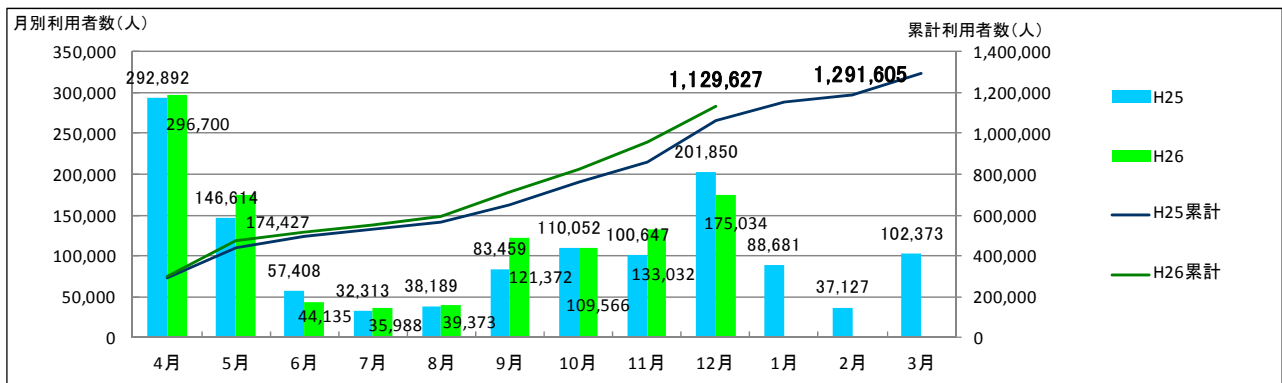


図 月別の木曾三川公園センター利用者数

(3) 「輪中ドーム」における年間の利用率

【平成 25 年度】

年間：33.5%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：38.9%

表 「輪中ドーム」における利用率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H25	2.2%	21.4%	39.4%	29.8%	21.9%	43.6%	50.7%	35.1%	30.4%	28.5%	39.0%	33.7%	33.5%
H26	35.1%	37.8%	45.7%	29.6%	30.0%	36.4%	45.3%	59.4%	31.6%				

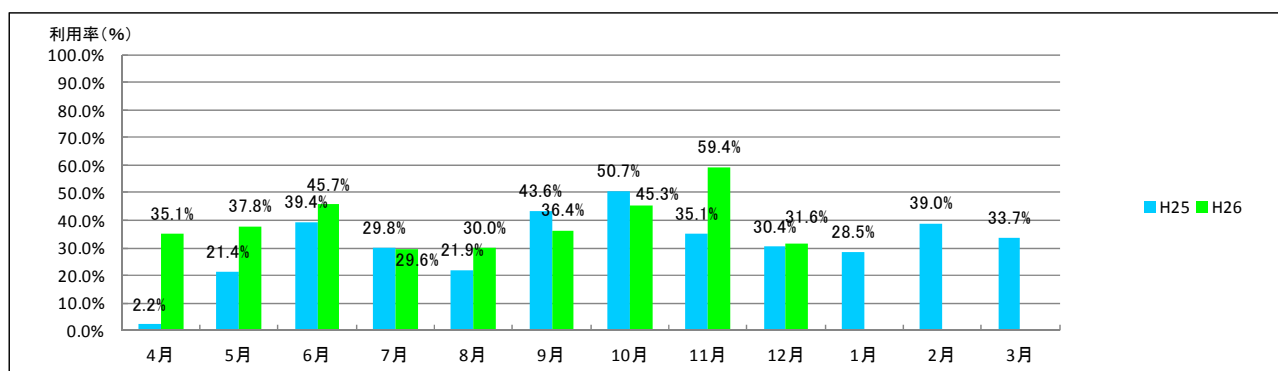


図 月別の「輪中ドーム」における利用率

## 2. 利用者満足度の向上

### (1) 公園の運営に関する利用者の「満足」の回答比率

【平成 25 年度】

年 間：55.3%

第 1 四半期：61.8%

第 2 四半期：53.3%

第 3 四半期：50.8%

第 4 四半期：52.2%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年 間：67.4%

第 1 四半期：59.9%

第 2 四半期：54.0%

第 3 四半期：81.9%

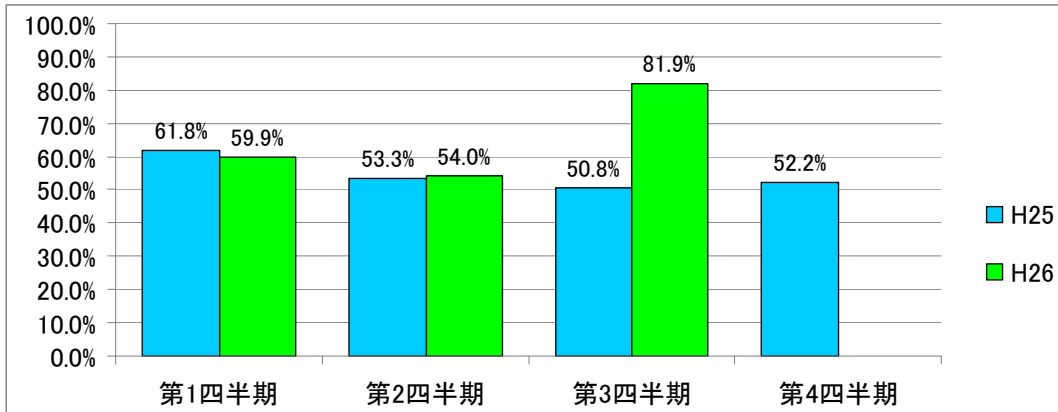


図 月別の公園の運営に関わる満足度（「満足」の回答比率）

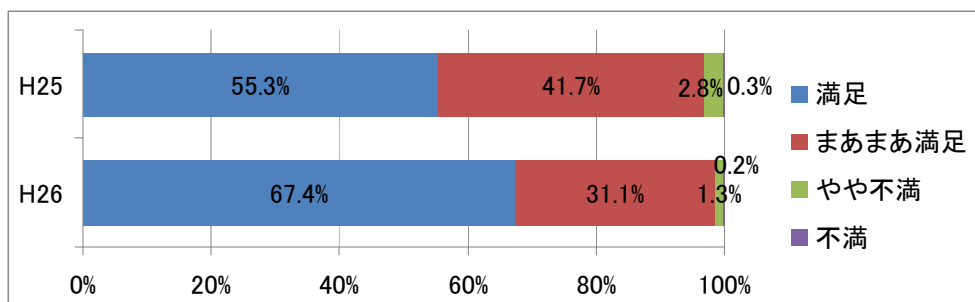


図 公園の運営に関わる満足度



(2) 本公園の花修景等の満足度

【平成 25 年度】

年 間：52.3%

第 1 四半期：58.7%

第 2 四半期：50.0%

第 3 四半期：49.2%

第 4 四半期：46.5%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年 間：66.1%

第 1 四半期：60.4%

第 2 四半期：55.7%

第 3 四半期：77.2%

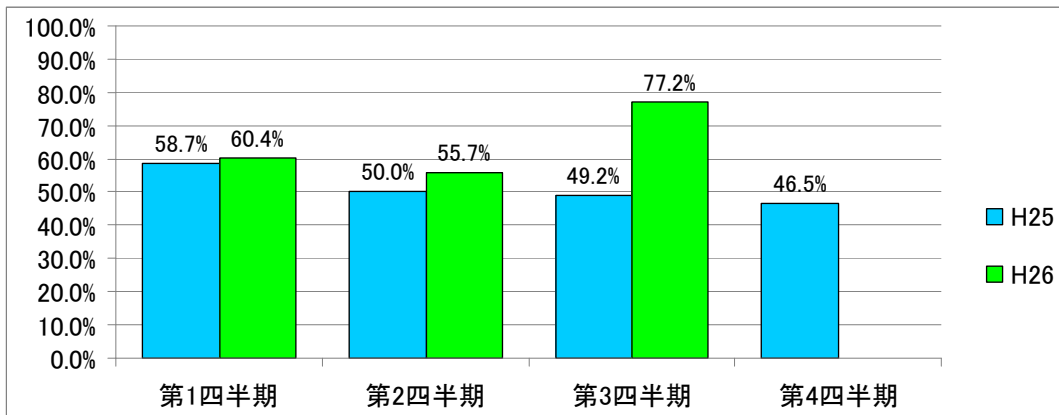
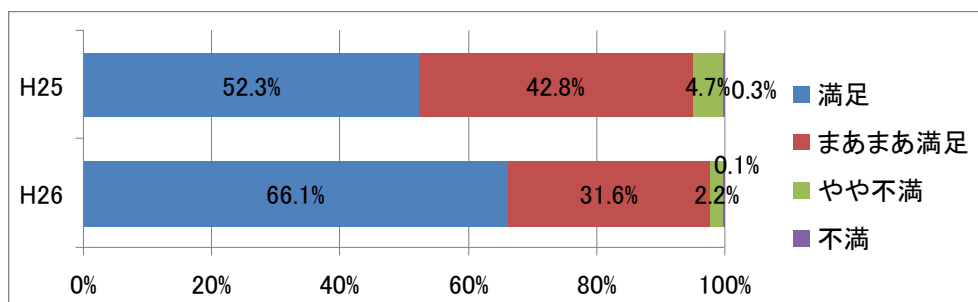


図 月別の花修景等に関わる満足度（「満足」の回答比率）



平成 26 年度は 12 月末現在

図 花修景等に関わる満足度

### 3. 多様な利用プログラムの提供

#### (1) 河川環境楽園、自然発見館での環境教育プログラムの開催回数、のべ人数

【平成 25 年度】

開催回数：1,127 回

参加人数：32,119 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

開催回数：936 回

参加人数：29,008 人

表 河川環境楽園、自然発見館での環境教育プログラムの開催回数、のべ人数

利用プログラム		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ネイチャーイベント	H25	114回			162回			103回			131回		
		41回	33回	40回	51回	82回	29回	31回	33回	39回	38回	34回	59回
	H26	108回			141回			91回			0回		
		40回	38回	30回	42回	67回	32回	23回	37回	31回			
	H25	3,495人			4,054人			2,463人			2,699人		
		1,154人	1,579人	762人	1,211人	2,204人	639人	784人	831人	848人	994人	628人	1,077人
H26	3,419人			3,787人			2,176人			0人			
	1,176人	1,658人	585人	1,215人	1,882人	690人	537人	1,003人	636人				
団体プログラム	H25	80回			47回			153回			19回		
		4回	48回	28回	17回	18回	12回	98回	39回	16回	7回	9回	3回
	H26	103回			80回			146回			0回		
		14回	55回	34回	27回	27回	26回	106回	15回	25回			
	H25	2,762人			1,319人			5,026人			530人		
		120人	1,725人	917人	505人	480人	334人	3,254人	1,234人	538人	228人	235人	67人
H26	3,246人			2,304人			4,705人			0人			
	403人	1,752人	1,091人	773人	749人	782人	3,442人	512人	751人				
わくわく探検隊 (ネイチャーガイド等)	H25	95回			59回			68回			74回		
		22回	56回	17回	12回	15回	32回	50回	13回	5回	29回	6回	39回
	H26	79回			94回			35回			0回		
		14回	54回	11回	14回	74回	6回	12回	15回	8回			
	H25	4,172人			986人			1,497人			1,182人		
		1,885人	2,001人	286人	186人	237人	563人	1,043人	332人	122人	307人	98人	777人
H26	1,782人			2,109人			998人			0人			
	333人	1,220人	229人	231人	1,802人	76人	437人	417人	144人				
食と農の体験 (農家の12ヵ月等)	H25	8回			1回			6回			6回		
		1回	5回	2回	1回	0回	0回	3回	1回	2回	3回	1回	2回
	H26	17回			26回			14回			0回		
		4回	7回	6回	9回	10回	7回	6回	2回	6回			
	H25	321人			53人			248人			1,248人		
		8人	188人	125人	53人	0人	0人	108人	35人	105人	1,151人	21人	76人
H26	567人			3,068人			731人			0人			
	93人	261人	213人	817人	2,038人	213人	410人	49人	272人				
農の体験 (稲の脱穀)	H25	0回			0回			1回			0回		
		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	0回	0回	0回	0回
	H26	0回			0回			2回			0回		
		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	2回	0回			
	H25	0人			0人			64人			0人		
		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	64人	0人	0人	0人	0人
H26	0人			0人			116人			0人			
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	116人	0人				
開催回数	H25	1,127回											
	H26	936回											
参加人数	H25	32,119人											
	H26	29,008人											

(2) アクアワールド水郷パークセンターでの環境教育プログラムの開催回数、のべ人数  
【平成 25 年度】

開催回数：232 回

参加人数：5,534 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

開催回数：246 回

参加人数：4,943 人

表 アクアワールド水郷パークセンターでの環境教育プログラムの開催回数、のべ人数

利用プログラム	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
自然体験プログラム	H25	13回			45回			26回			47回		
		3回	5回	5回	15回	13回	17回	5回	13回	8回	14回	14回	19回
	H26	90回			58回			16回			0回		
		31回	40回	19回	23回	21回	14回	6回	6回	4回			
	H25	543人			447人			152人			160人		
		384人	72人	87人	214人	127人	106人	17人	80人	55人	46人	58人	56人
H26	384人			449人			82人			0人			
	111人	130人	143人	217人	151人	81人	20人	27人	35人				
歴史文化系 体験プログラム	H25	3回			1回			2回			3回		
		1回	1回	1回	0回	1回	0回	0回	1回	1回	1回	1回	
	H26	0回			7回			3回			0回		
		0回	0回	0回	5回	0回	2回	1回	1回	1回			
	H25	77人			17人			51人			103人		
		44人	22人	11人	0人	17人	0人	0人	20人	31人	38人	22人	43人
H26	0人			277人			88人			0人			
	0人	0人	0人	232人	0人	45人	9人	34人	45人				
環境教育講座 (環境教育プログラム)	H25	8回			10回			27回			0回		
		1回	2回	5回	1回	1回	8回	19回	7回	1回	0回	0回	0回
	H26	5回			4回			38回			0回		
		1回	1回	3回	0回	3回	1回	28回	9回	1回			
	H25	271人			598人			1,581人			0人		
		63人	76人	132人	25人	23人	550人	1,159人	414人	8人	0人	0人	0人
H26	279人			136人			2,420人			0人			
	63人	81人	135人	0人	77人	59人	1,776人	627人	17人				
環境学習教材 (貸出含む)	H25	3回			2回			10回			0回		
		1回	1回	1回	0回	1回	1回	7回	3回	0回	0回	0回	
	H26	0回			4回			9回			0回		
		0回	0回	0回	1回	3回	0回	4回	5回	0回			
	H25	139人			109人			744人			0人		
		33人	76人	30人	0人	23人	86人	560人	184人	0人	0人	0人	0人
H26	0人			39人			512人			0人			
	0人	0人	0人	14人	25人	0人	205人	307人	0人				
PWミニプログラム	H25	0回			0回			11回			0回		
		0回	0回	0回	0回	0回	0回	11回	0回	0回	0回	0回	
	H26	3回			4回			5回			0回		
		0回	3回	0回	0回	4回	0回	3回	2回	0回			
	H25	0人			0人			146人			0人		
		0人	0人	0人	0人	0人	0人	146人	0人	0人	0人	0人	0人
H26	186人			50人			41人			0人			
	0人	186人	0人	0人	50人	0人	27人	14人	0人				
その他イベント (季節系行事の中で別途組んだ環境教育プログラム)	H25	7回			13回			1回			0回		
		3回	4回	0回	2回	11回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	
	H26	0回			0回			0回			0回		
		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回			
	H25	176人			190人			30人			0人		
		56人	120人	0人	39人	151人	0人	30人	0人	0人	0人	0人	0人
H26	0人			0人			0人			0人			
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人				
開催回数	H25	232回											
	H26	246回											
参加人数	H25	5,534人											
	H26	4,943人											

#### 4. 情報受発信の充実

##### (1) マスコミによる報道件数

【平成 25 年度】

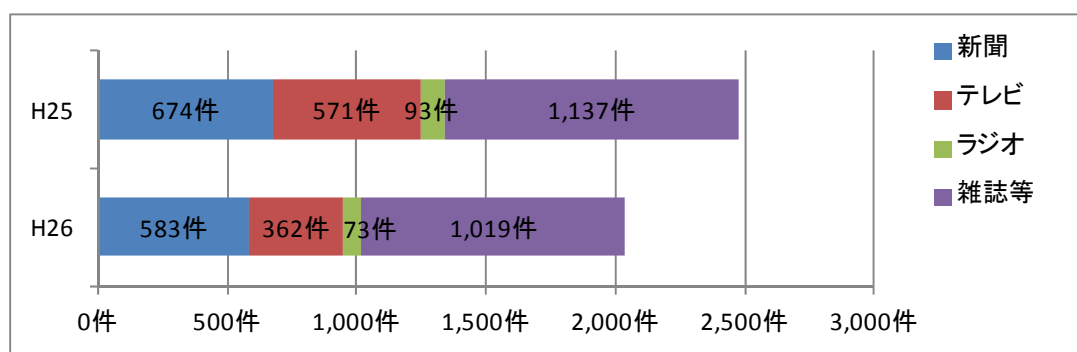
2,475 件

【平成 26 年度（12 月末時点）】

2,037 件

表 マスコミによる報道件数

	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌等	合計
H25	674件	571件	93件	1,137件	2,475件
H26	583件	362件	73件	1,019件	2,037件



平成 26 年度は 12 月末時点

図 マスコミによる報道件数の内訳

(2) ホームページの総アクセス件数

【平成 25 年度】

515,117 件

【平成 26 年度（12 月末時点）】

575,642 件

表 ホームページの総アクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	70,505	62,721	35,024	35,888	41,183	42,005	48,736	54,305	17,219	36,453	23,770	47,308	515,117
H26	89,081	80,721	39,842	44,946	51,123	65,371	59,293	73,331	71,934				

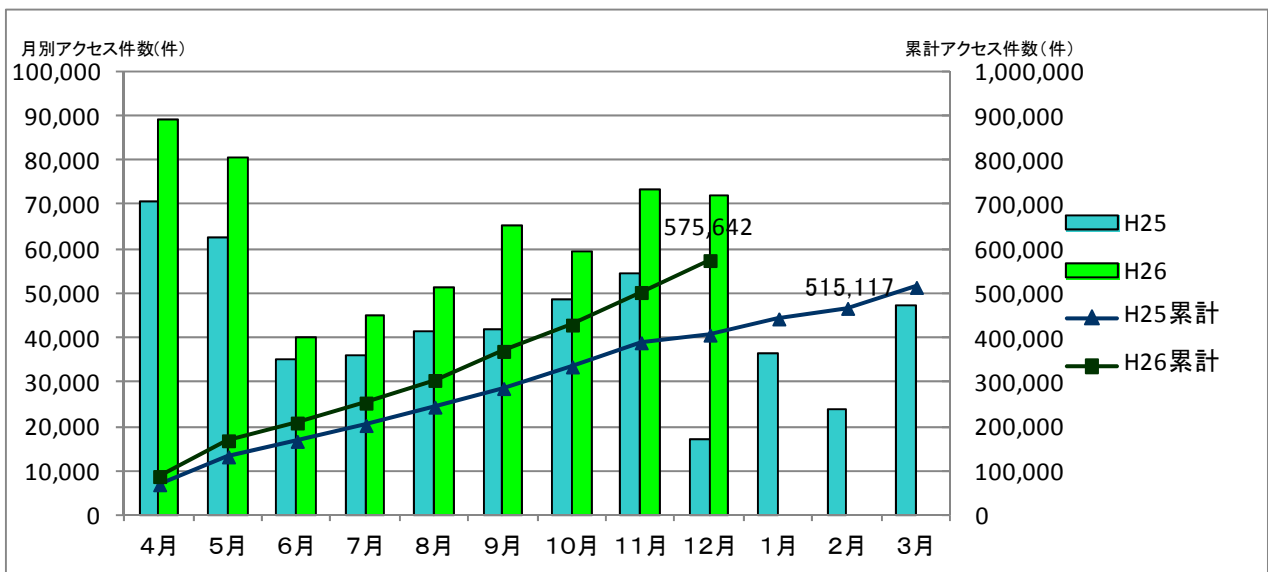


図 月別のホームページアクセス件数